



南小だより

<http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogenminami-s/>

〈教育目標〉

みんな なかよし

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

この夏 出会う 新しい自分

§ 「妙高ジュニアアドベンチャー」の挑戦

私は2008年（平成20年）から4年間、関山にある「妙高青少年自然の家」に勤務していました。自然の家では、青少年を対象とした自然体験活動のプログラムの開発や年間約13万人訪れる学校や青少年団体の受け入れ、自然体験活動の指導者の養成などが主な仕事でした。

毎年夏休みには、全国の小学校に募集をかけて、「妙高ジュニアアドベンチャー」という14泊15日の長期のキャンプを実施してきました。表題に書いた「この夏 出会う 新しい自分」は、この「妙高ジュニアアドベンチャー」のテーマになっていた言葉です。

2009年の夏は、佐渡海峡（寺泊港→赤泊港 約40km）をシーカヤックで渡る旅。11時間かけて佐渡まで渡り切りました。加えて、関山から寺泊までの110km、そして佐渡島1周180km、直江津から関山までの40kmをマウンテンバイクで走破しました。

2010年の夏は、日本一長い信濃川の源流から河口までの360kmをたどる旅。上流では、川沿いをマウンテンバイクで走り、中流ではラフティング、Eボート（救助用ボート）、そして下流では手作りのいかだで河口を目指しました。

2011年の夏は、森の中で15日間を過ごしました。まず、森を開拓して広場と小屋を作りました。そして、より快適に暮らせるように、かまどやお風呂、遊び場などを作りながら森の中で生活し続けました。

§ 自然体験活動の力

自然の家で、いろいろな活動を行う子どもたちの姿を見て、自然体験活動を通して、子どもたちが確かに成長していくことを感じてきました。

新潟県が子どもたちに育てたい社会性として、
○自己有用感 ○人間関係づくりの能力 ○規範

意識 ○困難に対して他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度 の4つを挙げています。自然体験活動は、まさにこれらの力を必然的に総合的に育てる力をもっているのです。

§ 野外炊事をしてみると

キャンプの定番、野外炊事（カレーライス作り）を例に考えてみます。

野外炊事では、薪を使って火を起こします。米をといで鍋（あるいは飯ごう）に入れます。別の鍋に、肉や切った野菜を入れます。ご飯を炊く鍋とルーを作る鍋を火に掛けるタイミングも大切です。火の調節は薪の量でします。風向きによって鍋の場所を調整します。熱いです。煙も出ます。ときどき蚊やアブといった虫も襲ってきます。天候が急変し、雨になることもあります。

それでも、自分の役割をきちんと果たしつつ、仲間と協力しなければ、食事（カレーライス）にはありつけないのです。そこには、家の台所や学校の家庭科室での調理とは違った困難さがあり、知恵と工夫と意志と人とのかかわりが自ずと発揮されていきます。

§ この夏 出会う 新しい自分

子どもたちが楽しみにしている夏休み。家族や地域でキャンプやバーベキュー、海水浴や登山、ハイキングなど、様々な自然体験活動に取り組む機会も多いと思います。便利で簡単なアウトドアではなく、適度な困難さをもった体験をするとき、子どもたちはきっと「新しい自分」と出会えることでしょう。

子どもたちが事故なく、健康で楽しい夏休みを過ごせることを願っています。



すこやかリズムプロジェクト <7月3日(水)>



妙高高原南小の保健委員会と妙高高原北小の健康委員会の子どもたちが、こども園を訪問しました。

南小の保健委員会は、ラジオ体操をしました。まず、ラジオ体操のポイントを示しながら、

お手本を見せました。次に、こども園の子どもたちと一緒に行いました。北小の健康委員会は、健康に関わるポスターをパズルにして、グループでパズルを完成させる活動を行いました。

子ども健康づくり協議会研修会 <7月17日(水)>



妙高高原地域健康づくり協議会が主催する研修会がほっとアリーナで開催されました。毎年この時期に妙高高原地域の2小学校の5・6年生と高原中学校の1年生、そして協議会の役員の方々が参加して、健康に関わることを学習しています。

今年度は、「ヒトは運動しないと生きられない動物?!」というテーマで、上越教育大学大学院准教授 池川茂樹先生からご講演をいただきました。

(すこやかリズムプロジェクトをはじめ、健康づくり協議会の取組や研修会の内容、参加した子どもたちの感想等については、9月に発行する「妙高高原地域子ども健康づくり協議会だより」で詳しくお知らせします。)

夢創造、ナビゲーション月間(キャリア教育の推進)

「家族との対話週間」<7月25日~31日>



新潟県では、ふるさとへの愛着や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育成することを目指したキャリア教育を推進しています。7月を「夢創造、ナビゲーション月間」として、3年生以上でキャリア教育の学習を行いました。

また、夏休み中の7月25日(木)~31日(水)を「家族との対話週間」としています。ぜひ、お子さんの「将来の夢」や「就きたい職業」について、また、おうちの方のお考えなどについて、話をする機会をもっていただきたいと思います。

決まりを守って楽しい夏休みを

夏休み中のめあてや約束をまとめた「夏休みの過ごし方」を配付しました。内容をご覧ください、子どもたちが規則正しく安全な生活を送れるようご協力をお願いします。

また、「水の事故防止」について、追加の留意事項がありますのでお知らせします。

【水の事故防止】

- 用水路の水の流れはとても速く、水量が多いこともあるのでむやみに近づかない。
- 河川の水深や水量の変化などについて把握していない場所では、遊泳や川遊びはしない。

「夏休みの過ごし方」には、緊急時の連絡先も記載してあります。平日の昼間、休日や夜間、お盆期間中で連絡先が変わりますので、ご確認をお願いします。



8月(2学期当初)の行事予定

27日	(火)	2学期始業式 給食開始
28日	(水)	発育測定
29日	(木)	P T A三役会
30日	(金)	第2回避難訓練 クラブ⑥

(文責 妙高高原南小学校長 湯浅 昭司)